

# 国立国語研究所学術情報リポジトリ

## 共通語コードに現れた方言の影響

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2020-06-29 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 三井, はるみ メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.15084/00002966">https://doi.org/10.15084/00002966</a>

## 共通語コードに現れた方言の影響

三井はるみ (国立国語研究所・研究開発部門)

### 1. はじめに

『方言文法全国地図』は、「研究の目的」として6つの点を掲げている(第1集解説書 p.3, 本研究発表会シンポジウムの佐藤亮一氏のパネル発表参照)。その中には、方言研究、日本語史研究に直接資することのほか、次のように、共通語の方言的背景の解明という、より今日的な課題を意識した目的が含まれている。

(4) 全国共通語の基盤とその成立過程を明らかにする。(以下略)

(6) 方言社会、あるいは、方言地域出身者に関わる国語教育・日本語教育のあり方について検討する。(略) 方言地域出身者が共通語と誤認して用いる方言的特徴や、共通語における文法事象のゆれの方言的背景も本書によって知ることができる。(以下略)

本研究が企画されてから現在までの30年間に、方言の衰退と共通語化はさらに進んだ。1990年代以降は、地域の中間方言や疑似標準語、気づかれにくい方言が研究対象として盛んに扱われるようになった。また国語教育や日本語教育では、特に2000年以降、実際に地域共通語を学ぶためのテキストが次々と作られている。『方言文法全国地図』はこの面でも活用されている。

ただし、書きことばを含む全国共通語の方言的背景については、条件表現等の一部を除き、現在のところさほど活発には取り上げられていない。そこでここでは、上記の目的に照らし、全国共通語と見なされる言語コードに現れた語形の方言的背景に関して、資料の提示を主な目的として、二つの事例を紹介する。

### 2. 「～てほしい」と「～てもらいたい」

中村通夫(1957: p.105-107)は、氏が戦争から復員したときに、それまでの「～てもらいたい」に代わって、「～てほしい」が盛んに使われるようになっていのに驚いた、というエピソードを紹介し、それまで関西の言葉だと思っていた「～てほしい」が、共通語的な場で多く使われ出したのは戦後だ、という観察を述べている。

『方言文法全国地図』では、第5集231図のほか、準備調査でもこの項目を取り上げている。質問文が少し異なるので、図1、図2として両方の略図を挙げた。分布範囲は図2の方がやや広いが、いずれも近畿地方を中心とした分布であることが明らかである。

一方、書き言葉での状況を知るために、CD-ROM版新潮文庫4種を調査した。「～てほしい」と「～てもらいたい」の使用例が15例以上あった著者47人について、生年順に配列し、両者の割合を示したのが図3である。『方言文法全国地図』の話者は原則として1925(大正14)年以前の生まれであるが、ごくおおまかに言って、およそこの頃(波線)を境に「～てほしい」の割合が高くなっていることが見て取れる。ただし、著者の出身地との関係は単純には説明がつかない。

### 3. 目上の人への「知っていますか」

平成17年度『国語に関する世論調査』(文化庁国語課2006)には、同年輩であり、かつ、立場上「上」と見なせる人への聞き方をたずねた設問がある(図4)。取り上げられた4つの場面に共通するのは、東北で「知っていますか」が多いという傾向である。またそれと連動するように、特に(1)(2)では「御存じですか」少ない(すべて5%水準で有意差あり)。

『方言文法全国地図』第6集287～290図は、高い待遇場面(B場面)での「知っていますか」にあたる言い方の地図である(図5)。このような高い待遇場面ですえ、尊敬形式を含まない「知っていますか類」「知っているか類」を用いる地域が広がっていることが確認できる。東北地方はそのような地域に含まれ、かつ、共通語形ゴソソジデスカはほとんど現れていない。

### 参考文献

- 新潮社(1995)『CD-ROM版 新潮文庫の100冊』, (1997)『CD-ROM版 新潮文庫 明治の文豪』, 『CD-ROM版 新潮文庫 大正の文豪』, (2000)『CD-ROM版 新潮文庫の絶版100冊』  
中村通夫(1957)『NHK講座:現代語の傾向』宝文館  
吉岡泰夫(2000)「敬語使用と規範意識の社会差・地域差」『計量国語学』22-6

図1 行ってもらいたい  
『方言文法全国地図』第5集231図の略図

- 行ってもらいたい類
- △ イッテモライタイ
  - ▲ イッテモライタカ
  - ▲ イッテモライタキャ
  - ▲ イジムレーチャサン
  - ▲ イッテモラオーゴタル
  - ▲ イジムレーブシャン
  - ▷ イッテモラウトイイ
  - ▲ イッテモラエナイカ
- 行ってほしい類
- イッテホシイ
  - その他
  - ✱ 無回答 (イッテクレなど)

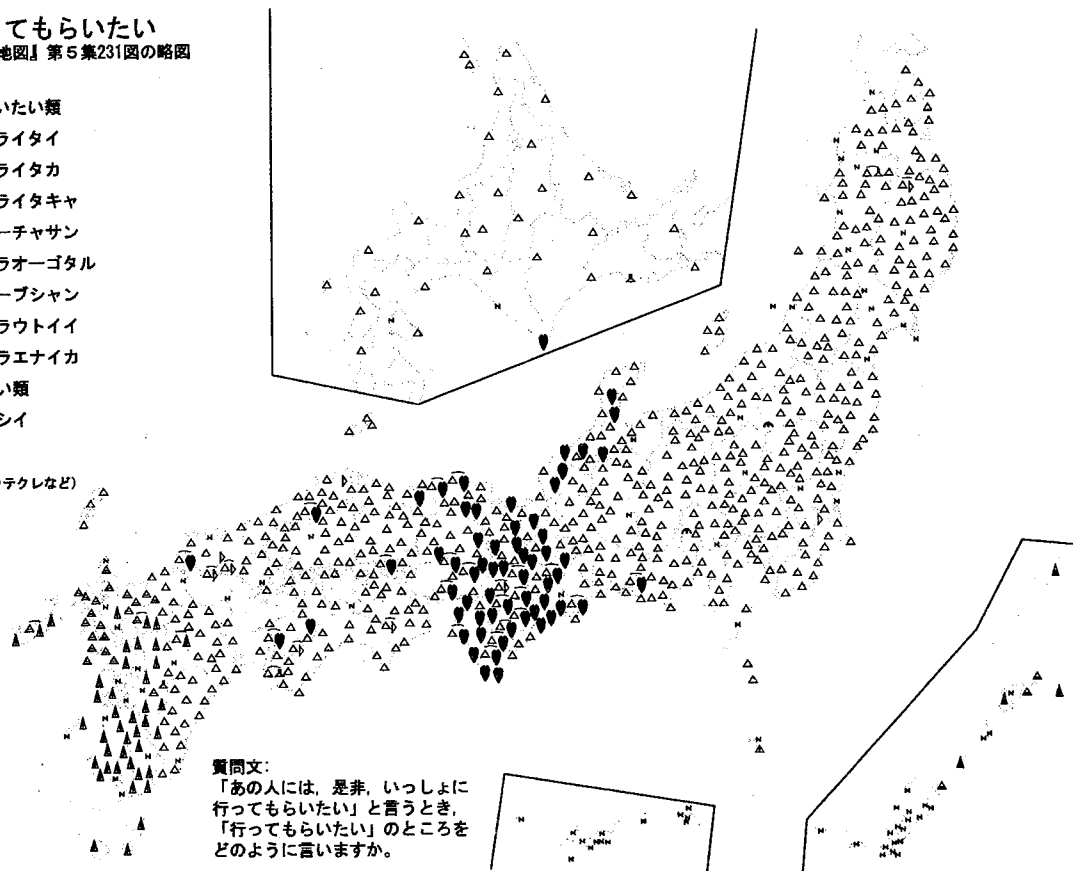


図2 話してほしい／話してもらいたい  
『方言文法資料図集(1)』59図を改変

- 話してもらいたい類
- △ イッテモライタイ
  - ▲ ハナシテモライタカ
  - ▲ ハナシテモライタキャ
  - ▲ ハナシテモラオーゴタル
- 話してほしい類
- ハナシテホシイ
  - ハナシテホシカ
  - ハナシテホシキャ
  - ✱ 無回答 (ハナシテクレなど)

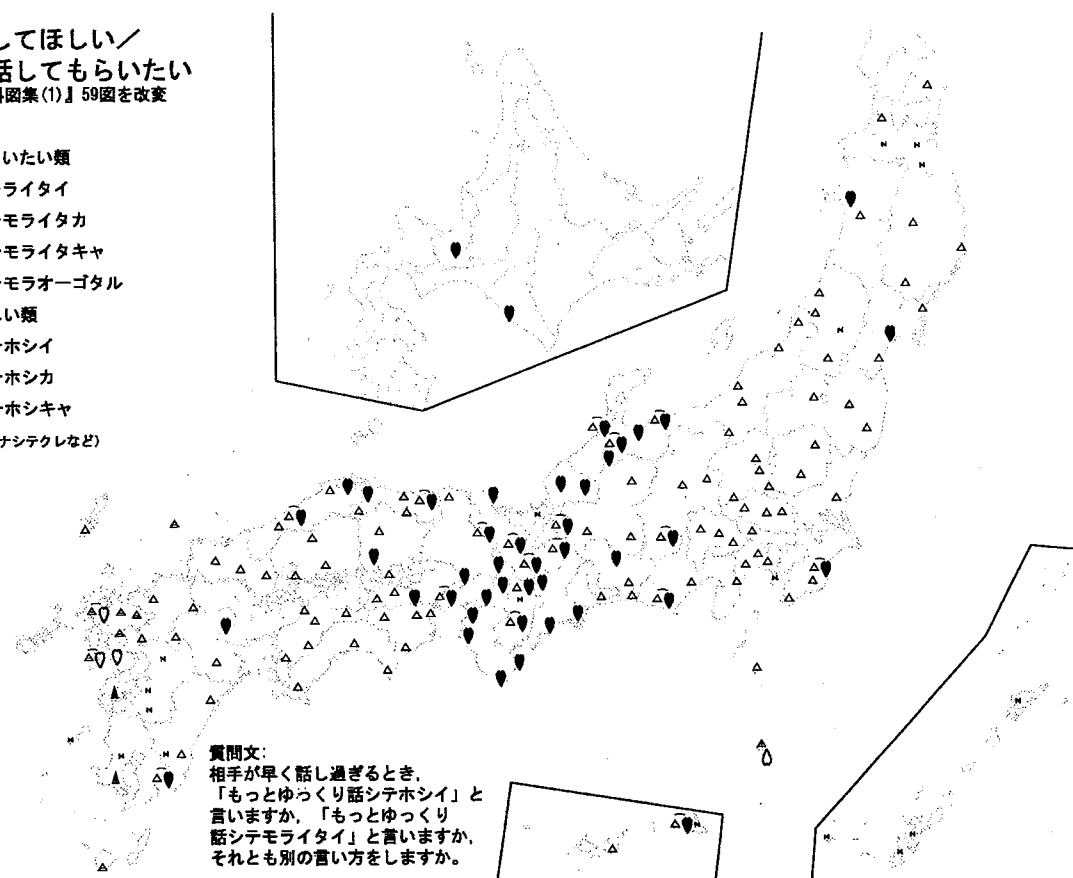
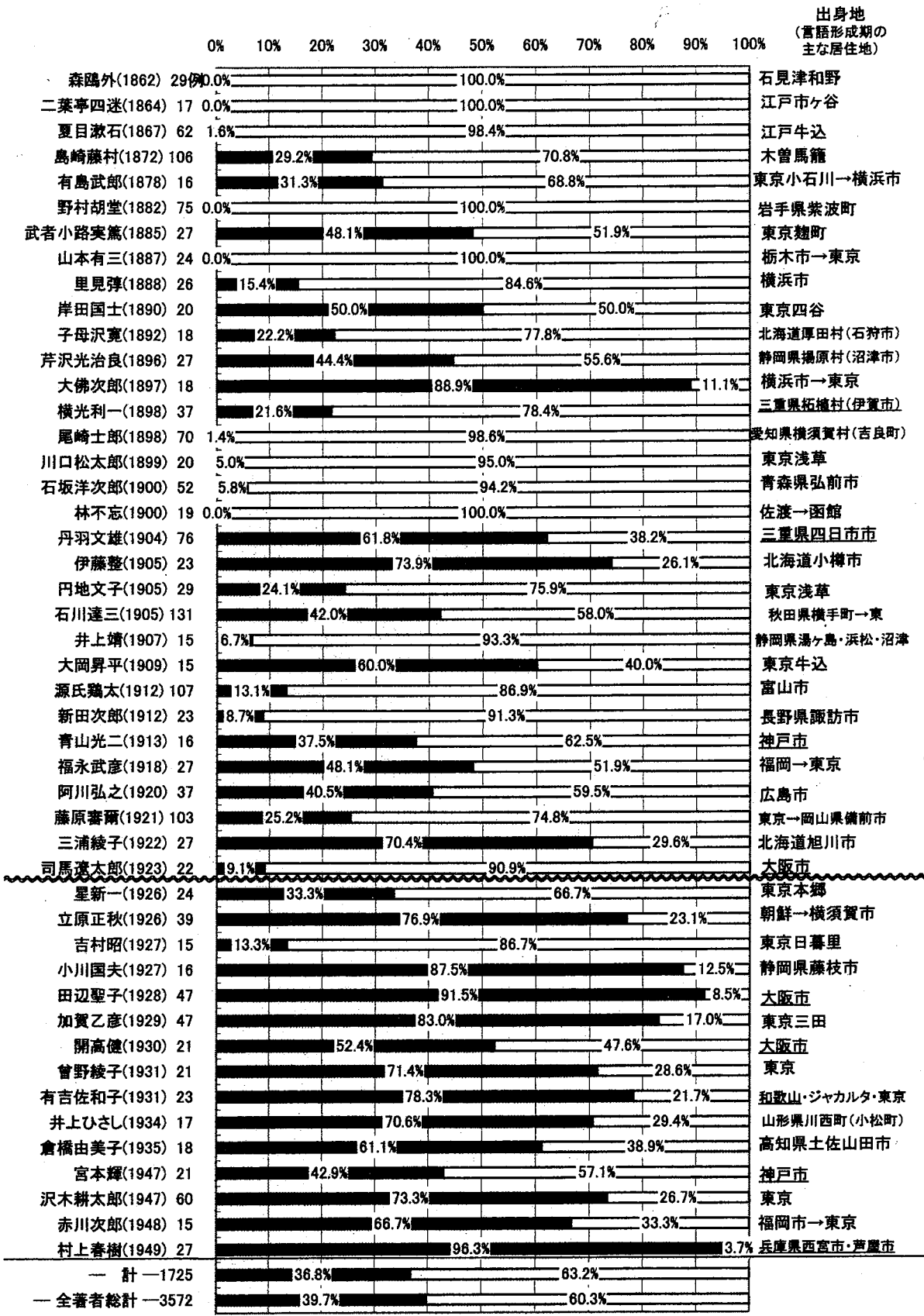


図3 CD-ROM版新潮文庫所収著者別:「てほしい」と「てもらいたい」の割合  
(外国作品を除き、用例数の合計が15例以上の著者47人)



■「てほしい」計% □「てもらいたい」計%

図4 あなたは、「山本さんを知っているかどうか」を聞く場合、何と言いますか。  
 (文化庁国語課(2006)『平成17年度国語に関する世論調査』より) ※「その他」「わからない」を除く(%)

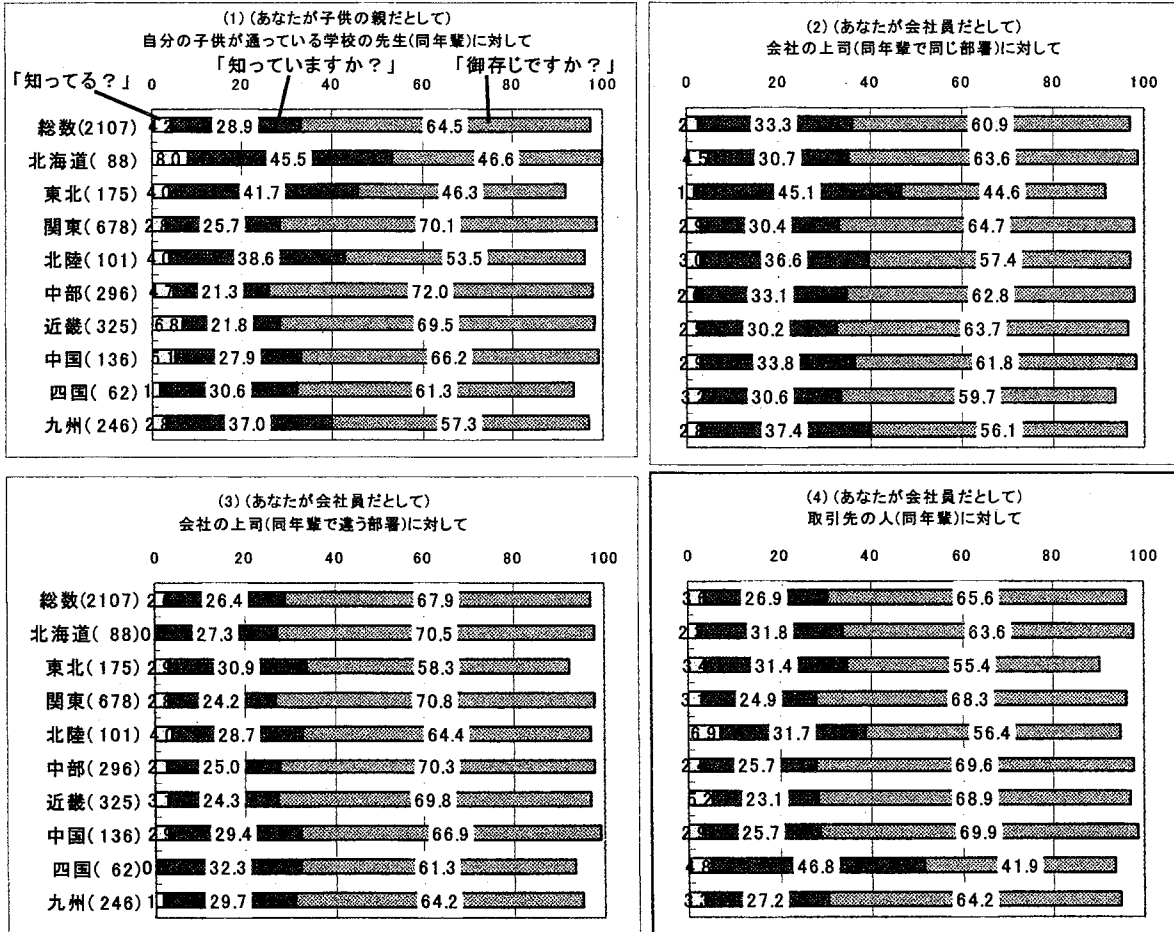


図5 知っていますか(B場面)  
 『方言文法全国地図』第6巻287~290図の略図

- 御存じですか類
- ★ ゴソンジデスカ
  - 知っていますか類
  - △ シツテイマスカ
  - ▲ オボエテタスカ
  - ▲ ワカッテタスカ
  - ✓ シツテオリマスカ
  - 知っているか類
  - ！ シツテルカ
  - ↑ オボエテタカ
  - ∩ ワカッテタカ
  - ∩ シツトルカ
  - シツタルカ
  - ・ その他の方言敬語
  - ・ 無回答

